

# バックグラウンド測定に向けた準備

2014.4.23

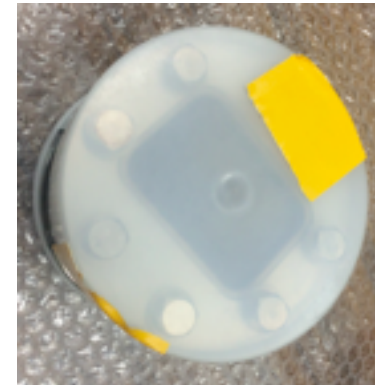
CERL-LCLS打ち合わせ

本田洋介

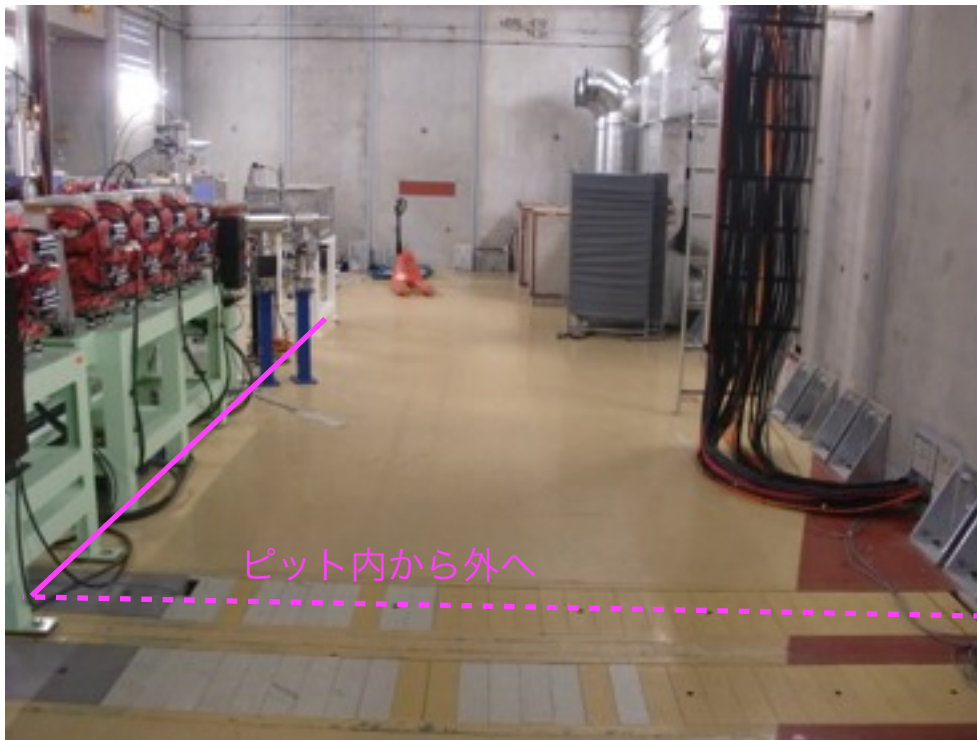
- 5,6月の運転で、南直線部前方でのバックグラウンドの様子を測定したい
- 加速器室内に検出器を置けるよう準備している

# 設置状況

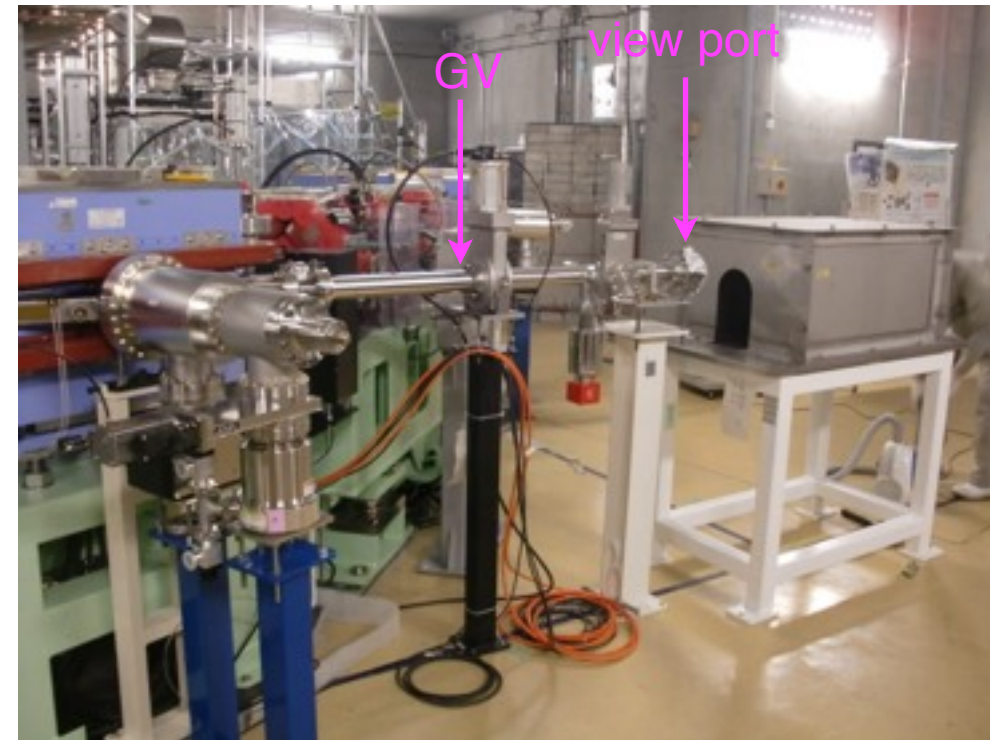
- 加速器室内、できるだけ近いところ。衝突点から約8m。
- 用意中のもの(6月までの仮設置)
  - シールドのため、そこそ鉛をのせても大丈夫なテーブル(旧入射部ダンプのテーブル)
  - ケーブル(同軸信号線5本、高圧用3本)、30m(外にでてから10mくらい余裕あり)
  - トリガ信号もどこからか貰って来たい。
- ポートの状況
  - 現状ではゲートバルブは常にオープン
  - ガラスビューポート
  - STFにあったBe窓を予約はしておいた



Be窓  
ICF114



ピット内から外へ



GV  
view port

# 設置状況

- シールド南側に機器を置いて測定する。

